

東北文教大学・同短期大学部の事業計画

○不断の教育改革の取り組み

どこよりもあたたかい指導に基づく教育を行う大学を目指し、「きめ細かな指導」

「個別指導の充実」「自他への信頼感の醸成」「学びの成果のふりかえり」等を指導の軸に、以下の事項を具体的な目標として、これらを達成するための取り組みを行う。

◇退学者数や留年者数における少ない状況の維持

- ・ 学生の欠席状況やそれについての学科構成員の共有化、さらに成績成果に基づく学生面談や保護者面談を実施し、面談の方法や内容について検討を加える。

◇学びにおける達成感と自信の育成

- ・ 子ども教育学科における入学時のアセスメントテストとリメディアル科目の開講さらに全学科に対する学修支援センターの活動を強化し、入学者選抜種別の違いによる基礎学力の差を小さくするシステムを検討する。
- ・ 学修成果の状況を意識させるため、GPA を活用して、学生個々の相対的位置を知らせる方式を導入する。
- ・ 「学習成果等アンケート」を実施しつつ、それをポートフォリオ的に取り扱い、学生個々の学びの状況について確認、指導に活用するシステムを検討する。
- ・ 学修成果の質保証として、「資格に関わる資質」及び「学士力」「社会人基礎力」を踏まえた自己評価のシステムを検討する。

◇正課外活動の充実

- ・ 部活動やボランティア活動への支援、さらに学生から大学への要望を聴く場である連絡協議会を実施しつつ、学生の要望への対応を強化する。

○学科新設・改組の取組み

人間科学部に、人間関係を重視し、地域の課題解決に貢献できる人材の育成を目的とする新学科「人間関係学科（仮称）」を設置するために、準備室において①新学科の設置の趣旨及び必要性、②育成すべき人材像、③学科の特色、④教育課程編成の考え方及び特色、⑤学生確保の見通しなどについて検討し、原案を作成する。作成した案をもって文部科学省に事務相談に行き、指導・助言を受けながら原案を修正するとともに、新学科設置のための必要書類をととのえる。そして、2020年3月に必要書類を提出し、新学科設置認可申請を行う。

短期大学部は、2021年度に人間福祉学科のカリキュラムを一部変更し、学科名を変更する予定である。そのため、2019年度中に学科名変更の手続きのための準備に入る。

○就職力向上・確保の取り組み

就職に向け学生の意識を高め志望動機を明確化するため、「教員採用試験対策」「一般職」「保育専門職」「介護福祉専門職」など領域別に毎週開催している進路ガイダンスの内容について検討を行う。また、例年実施している「企業研究会」「保育職就職セミナー」「福祉就職セミナー」では専門分野に特化した講師の獲得などにより、その内容を充実させる。

各領域の取り組みとして、「教員採用試験対策」では教員採用に向け、教職実践センター、学修支援センターと綿密に連携することにより基礎学力を向上させる。「一般職」においては「学内企業説明会」の拡大を図ることにより新規企業の取り込みを行う。インターンシップの機会を増やすための受け入れ企業の情報提供、及び就職に関する情報を得やすくするための進路支援センターモバイルサイトを有効活用する。「保育専門職」においては公務員保育士模擬試験の実施回数を増やす。「介護福祉専門職」については国家試験対策のサポートも行う。

○大学ブランド力向上の取り組み

ブランド化の第一歩として、本学の強味と現在の進学を取り巻く状況とをすり合わせた広報を進める。まず、本学の強味である「ていねいな教育・支援」を大学案内、高校訪問、ホームページ等を通じてアピールする。特に「学生と教職員の距離の近さ」「学生一人ひとりを大事にする」といった本学の特性を、卒業時アンケートにおける満足度や就職率の高さ、及び学力向上に関するデータなどを適切に使用し、高校教員や高校生と保護者に伝えていく。これと、地元進学にメリットを感じる状況をかけあわせた広報戦略によりブランド化の足掛かりを作る。

○定員充足率向上の取り組み

入学定員を充足している人間科学部子ども教育学科と短期大学部子ども学科は、今後志願者数にも注目し、特に子ども教育学科は県外向けの広報戦略を中期的に考えていく。2021年度設置予定の新学科との協調のもと、学部・短大全体のアピールを次年度以降行うための準備作業を進める。入学定員を割っている総合文化学科と人間福祉学科のうち、前者については、一般入試と大学入試センター試験利用入試の志願者に向けて、高校訪問等に活用できるよう、教養系の学修内容をアピールする方策を講ずる。後者については介護福祉専門職養成の学修のみではないことを示し、志願者の増加を目指して、2020年度から医療管理秘書士の資格を導入するとともに、学科名変更に伴うカリキュラムを検討する。